

1 PLAN(目的・概要)

政策名	環境にやさしく・夢・うるおいにぎわいのある親しまれる港づくり			30年度事業・施策評価結果		責任者 企画調整室 企画担当課長
施策名	港湾活動のグリーン化			成果	コスト	
事務事業名	LNGバンカリング拠点形成の支援					連絡先 052-654-7906
目的	対象(誰・何を)	LNGバンカリング拠点			事業 期間	令和元年度～
	意図(どうい う状態にしたいか)	形成できるよう支援していきます。				
概要	世界的な海事分野における環境規制の強化に伴い、大気環境に与える影響が少ない船舶燃料のLNG化が進むことが予想されます。こうしたことから、LNGバンカリング拠点形成に向けてLNG燃料船の寄港促進のための環境を整備していきます。				根拠 法令等	
令和元年度の実施予 定	LNGバンカリング拠点形成に向けたインセンティブ(LNG燃料船及びLNG燃料供給船の入港料減免)を創設するとともに、LNG燃料船の普及並びにLNGバンカリングのPRを目的とした実証実験の実施に向けて協力していきます。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した 内容・結果	LNGバンカリング拠点形成に向けたインセンティブ(LNG燃料船及びLNG燃料供給船の入港料減免)を創設するとともに、民間事業者との協議を重ね、LNG燃料船の普及並びにLNGバンカリングのPRを目的とした実証実験を実施しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円			0	0	
人件費	千円			3,670	3,670	
合計	千円			3,670	3,670	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	中間目標	5	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因	
情報共有や 協議の回数 (単年度管理型)	目標			3		3	LNGバンカリングに関する情報共有や協議の回数		
	実績			3					
事業進捗状況(元年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	目標						令和元年度は、民間事業者と協議を重ね、本港でLNGバンカリング実証実験を実施しました。		
	実績								
事業進捗状況(元年度)				順調 ・ やや遅れ ・ 遅れ					
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明							
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か？ 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか？	<input type="radio"/>	LNGバンカリング拠点形成の支援は、大気環境に与える影響が少ないLNGを燃料とする船舶の入港を促進していく上で必要です。						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか？ 期待どおりの成果が得られているか？	<input type="radio"/>	LNGバンカリング拠点形成の支援は、LNG燃料船の寄港促進を図ることとなるため、港湾活動のグリーン化に貢献します。						
効率性	最小のコストとなっているか？	<input type="radio"/>	民間事業者に協力して実証実験を実施するなど、効果的に取り組んでいます。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性			判断理由
		成果	コスト	
継続	維持	維持		引き続き、LNG燃料船の寄港を促進する必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。			
課題				2年度以降の取組
LNG燃料船及びLNG燃料供給船の令和5年度の目標入港隻数80隻を目指し、まず本港へ円滑かつ安全に入港してバンカリングを実施できる環境を、関係者が協力して整えることが必要です。				LNG燃料船及びLNG燃料供給船の本港への配船の動向を注視しながら、ソフト面やハード面において必要な環境を関係者で協力して整えていきます。